

手術センター(手術部)

1. スタッフ構成

- 大谷 広美(消化器病センター長、手術センター長、手術部長、改善推進室長補佐、クオリティマネジメント室長)
- 渡部 早人(看護長)
- 看護師:58名
- 看護補助者:1名

2. 認定資格取得

資格名	資格取得者
日本看護協会手術看護認定看護師	渡部早人、今井幹也

3. 運営方針

- (1) 患者さんに安全で、安心できる手術を提供します。
- (2) 地域の基幹病院として、高度で先進的な手術に対応する機能を備えます。
- (3) 高度救命救急センターおよび総合周産期母子医療センターを有しており、常に緊急手術に即応できる体制を整えます。
- (4) 人、物、設備を効率的に活用し、安全で円滑な手術室運営を行います。

4. 実績

4階の中央手術部内に手術室が15室(うちバイオクリーンルーム対応手術室2室、アンギオ対応ハイブリッド手術室1室、ロボット支援手術用手術室2室)、5階の産科病棟に緊急帝王切開用の手術室が1室あります。

いつでも緊急手術に即応できるよう、手術部看護師および麻酔科医師が24時間常駐しています。

2022年はCOVID-19関連の手術枠制限にもかかわらず7,181件の手術が行われました。このうち緊急手術は1,366件(19.0%)で、2020年の1,192件(15.5%)、2021年の1,212件(17.2%)と比べて件数割合とも増加しており、地域の基幹病院としての責務を果たしていることが示されています。四国最多の手術件数を安全かつ効率的に行うために、電子化された業務フローやPFI事業に伴う民間委託業者との業務提携を活用しています。また、医療コンサルタントによる分析も取り入れながら、さまざまな運用改善に取り組んでいます。

当院の特徴として、高度救命救急センターおよび総合周産期母子医療センターを有しているため、緊急手術が多く、超高齢者や重篤な合併症がありきわめて状態の悪い患者さんなど、リスクの高

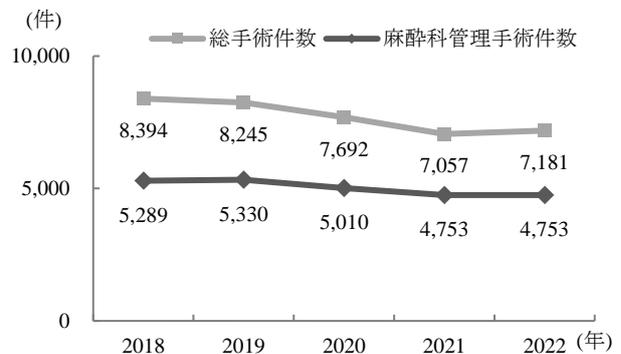
い(生命に関わる危険性が高い)手術が多くなっていることが挙げられます。一刻を争う患者さんがドクターヘリで搬送され、直ちに緊急手術となることもあります。

また、当院ではハイブリッド手術室を使用したTAVI(経カテーテル大動脈弁留置術)や大血管のステントグラフト内挿術、ロボット支援手術、ナビゲーションシステムを用いた精密手術、高難度肝胆膵腹腔鏡手術、内視鏡を用いた低侵襲手術等、最先端の手術を積極的に行っています。2020年3月には、2台目の手術支援ロボットが導入され、増加するロボット支援手術に対応すべく、手術室も1室増設されました。

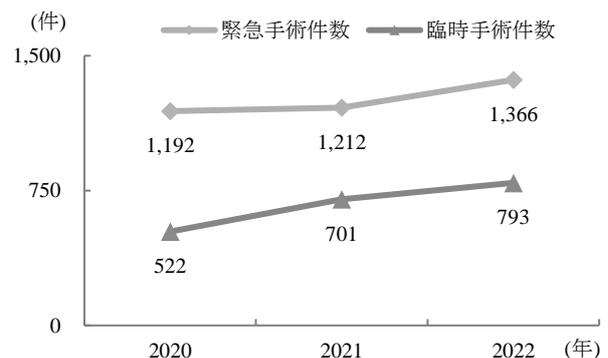
またCOVID-19に関連し、排煙装置等のサージカルスモーク対策や運用マニュアルの整備等、手術室内での感染防止対策を強化すると同時に、当院に求められる地域基幹病院としての責務を果たすため、感染状況に応じて、手術枠制限、解除を能動的に行い、緊急手術、高難度ハイリスク手術遂行機能を維持しています。手術枠制限時であっても必要な手術は臨時手術として遅滞なく実施する運用としたため、2022年の臨時手術件数は793件と、2020年の522件、2021年の701件より大幅に増えてきています。

患者さんに高度で安全な手術を提供できるよう、医師・看護師・臨床工学技士等さまざまな職種のスタッフが協力して、手術室運用業務の適正化に取り組んでいます。

■ 総手術件数、麻酔科管理手術件数の推移



■ 緊急手術件数、臨時手術件数の推移



■ 総手術件数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
内科	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	3
循環器内科	9	8	9	10	13	11	9	7	7	10	11	9	113
小児外科	11	14	10	10	10	6	9	7	6	8	13	12	116
消化器外科	128	88	82	105	109	140	154	120	95	122	121	134	1,398
乳腺・内分泌外科	24	26	23	20	23	29	28	24	19	23	23	25	287
呼吸器外科	12	7	13	16	16	14	14	12	15	14	13	18	164
整形外科	93	82	96	89	82	100	100	91	83	101	99	102	1,118
形成外科	35	37	42	30	41	49	47	46	40	39	34	37	477
脳神経外科	26	22	36	25	31	26	29	24	24	29	34	34	340
皮膚科	6	8	4	7	4	9	6	7	3	4	4	3	65
泌尿器科	81	62	66	68	73	92	75	89	68	87	78	87	926
婦人科	35	22	13	27	23	29	19	25	18	33	36	34	314
産科	25	31	25	37	25	26	35	41	44	26	22	29	366
眼科	59	57	44	44	49	54	63	59	60	68	82	64	703
耳鼻咽喉科	33	30	34	27	28	37	26	39	30	31	31	33	379
麻酔科	2	0	4	2	0	3	1	2	3	2	1	1	21
歯科	3	1	2	1	1	2	0	1	1	2	2	1	17
心臓血管外科	35	29	25	29	32	38	30	30	26	38	34	28	374
合計	618	524	528	547	561	665	645	624	542	638	638	651	7,181

■ 麻酔科管理手術件数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
内科	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2
循環器内科	9	7	9	10	13	11	9	7	7	10	11	9	112
小児外科	11	14	10	10	10	6	9	7	6	8	13	12	116
消化器外科	105	77	71	93	91	110	124	100	87	101	100	107	1,166
乳腺・内分泌外科	22	19	15	18	22	24	23	19	17	20	20	22	241
呼吸器外科	12	7	12	16	16	14	14	12	15	14	13	18	163
整形外科	69	66	75	67	61	76	76	65	63	69	69	80	836
形成外科	15	13	15	14	19	19	16	24	17	19	11	13	195
脳神経外科	24	18	23	22	24	23	25	22	18	23	29	27	278
皮膚科	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
泌尿器科	28	26	28	31	27	35	31	28	27	32	23	35	351
婦人科	31	21	12	24	20	27	16	21	16	28	31	27	274
産科	22	24	23	32	25	21	31	35	41	24	17	26	321
眼科	2	2	0	0	0	1	2	2	2	0	3	1	15
耳鼻咽喉科	31	25	27	22	23	31	23	35	27	28	24	25	321
麻酔科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歯科	3	1	2	1	1	2	0	1	1	2	2	1	17
心臓血管外科	34	26	24	27	27	34	28	27	24	36	31	25	343
合計	418	346	346	387	380	434	428	406	368	415	397	428	4,753

■ 非麻酔科管理手術件数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
内科	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
循環器内科	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
小児外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消化器外科	23	11	11	12	18	30	30	20	8	21	21	27	232
乳腺・内分泌外科	2	7	8	2	1	5	5	5	2	3	3	3	46

呼吸器外科	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
整形外科	24	16	21	22	21	24	24	26	20	32	30	22	282
形成外科	20	24	27	16	22	30	31	22	23	20	23	24	282
脳神経外科	2	4	13	3	7	3	4	2	6	6	5	7	62
皮膚科	6	8	4	7	4	9	5	6	3	4	4	3	63
泌尿器科	53	36	38	37	46	57	44	61	41	55	55	52	575
婦人科	4	1	1	3	3	2	3	4	2	5	5	7	40
産科	3	7	2	5	0	5	4	6	3	2	5	3	45
眼科	57	55	44	44	49	53	61	57	58	68	79	63	688
耳鼻咽喉科	2	5	7	5	5	6	3	4	3	3	7	8	58
麻酔科	2	0	4	2	0	3	1	2	3	2	1	1	21
歯科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
心臓血管外科	1	3	1	2	5	4	2	3	2	2	3	3	31
合計	200	178	182	160	181	231	217	218	174	223	241	223	2,428

5. 2023年度目標

- (1) 救急患者の手術に対応した柔軟な業務体制を構築し、手術待機期間のさらなる短縮を目指します。
- (2) クリニカルインディケーター等の臨床評価指標を基にして、手術業務の改善・効率化を図ります。
- (3) WHO 手術安全チェックリストを用いて手術に関わる全職種で情報の共有を行い、より安全な手術を目指します。
- (4) 手術室内での感染防止対策を徹底し、COVID-19 を含む感染症流行期においても、安全に手術できる体制を強化していきます。

6. 学術関係

(1) 学会発表および講演

1. 仙波未樹、渡部早人、秀野桜、近藤諒太、原田雅光、菅政治. 当院手術室におけるTQM活動の発展と効果～10年の活動を振り返って～. 第60回全国自治体病院学会. 沖縄 (2022.11.10-11)
2. 近藤諒太、橋本望、渡部早人、木村奈々、村上宏美、二宮まどか、仙波未樹、古川克郎. 術前準備不足における関連インシデントの低減. 第23回フォーラム「医療の改善活動」全国大会. 東京 (2022.11.18-19)
3. 渡部早人、仙波未樹、原田雅光. 手術室における、5S・カイゼン・TQMサークル活動、そして JICA サポート. 第58回愛媛県立病院学会. オンデマンド配信 (2022.11.28-12.9)